



SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:西山俊明 幹事:新井性哲 会報委員長:延秀恵

2013年10月15日 第1108回例会(第1107号)

本日の例会

今週の歌 「歓迎の歌」

国際ロータリー第2660地区

井上義信ガバナー補佐訪問

「クラブ協議会」

次回例会のお知らせ(10月22日)

卓話 「地域防災について」

吹田市危機管理室

室長 木戸 誠 様

参事 竹嶋 秀人 様

前回【10月8日】例会記録

会長の時間 西山 会長

株式会社ブリヂストンに35年間務め、モータースポーツ用タイヤの開発に関わってこられ、2012年1月からイタリアのフェラーリ社のF1チームのタイヤ開発の責任者にヘッドハンティングされた浜島裕英氏の手記を紹介します。

ブリヂストン社は、定年再雇用については進んでいる企業ですが、これからも喜びをもって働くことのできる「場」が与えられるか不安がありました。やりがいのある仕事、働きやすい環境をどう与えるか、そして理にかなった賃金の支払い体制等をセットで構築することが求められます。これらが整備されることで、特に中国、韓国への頭脳・技術の流出問題への歯止めになります。

ブリヂストンでの経験と、フェラーリ社とは様々な違いがありますが、その根底に流れているものは同じです。フェラーリ社へ移って3週間目に、モンテゼーモロ社長から呼び出しを受け、仕事、チームのこと等の会話の後、「仕事をきちんとしてもら

出席報告 田中(弘) 委員長

【10月8日】
在籍会員 34名(内出席規定適用免除者 10名)
出席会員 29名(内出席規定適用免除者 7名)
ホームクラブ出席率 93.55%

9月10日のMUを含む出席率 96.67%

のは当たり前だが、折角、わが社に来たのだから、イタリアをしっかりと学んでいってもらいたい。文化、芸術、そして食べ物など、良いものが沢山あるので、十分に楽しんでいきなさい。」こう言われ、心をつかまれてしまいました。この人のため、この会社のために頑張ろうと思いました。人間として最も大切な気遣いのように思えました。昔の日本にあって、最近忘れがちになってしまっているように思います。このような言葉を直接上司から言われたら、部下の人たちのモチベーションは向上し、より強い組織、企業作りがなされることでしょう。「人は城、人は石垣、人は堀」に通じます。

以上のように浜島氏は記述されています。やはり勝敗の決め手は堅固な城ではなく、人だということです。企業を支えるものは人のやる気だからです。両社に共通するものとして、人に視点をいた働く場を大切にしている点にあるというものでした。

関西大学RAC例会出席担当

10月21日(月)・28日(月)

出席：田中(弘)、木元、榎谷、栢本、金馬、水谷、西山各会員

会場：関西大学千里山キャンパス
中央体育館 図書資料室

時間：18:50~19:50

幹事報告

新井幹事

次回10月15日(火)は、井上ガバナー補佐・簡ガバナー補佐エレクトをお迎えして「クラブ協議会」を開催します。例会時間を30分延長して終了は14:00です。本日BOXに、「クラブの概況書」「進行表」「発言要旨」を配付しました。事前にお目通しのうえ必ずご持参ください。各委員長は、配付しました発言要旨に訂正、追加等ある場合は、本日中に新井までお申し出ください。

なお、西山会長、金馬会長エレクト、田中(弘)SAAは懇談が行われますので11:30にご参集ください。

クラブロータリー財団委員長会議のご案内

日時：11月2日(土) 14:00~16:00

場所：薬業年金会館601号室

西本委員長よりよろしくお願いいたします。

前年度理事会(平成25年5月度)において、クルビズの期間が10月末までとなっていました。ガバナー補佐訪問の10月15日とガバナー公式訪問の10月29日は写真撮影もありますのでネクタイ着用をお願いします。

ニコニコ箱

八橋会員 卓話よろしく。

本日分 3,000円

累計 321,000円

卓話

「職業奉仕月間に因んで」

八橋志夫 職業奉仕委員長

職業奉仕について私の思いを少し卓話させていただきます。

その後各テーブルにて「ロータリアンが職業を離れた時、そのロータリアンの職業奉仕は」をテーマに話し合ってください。

「ロータリーの奉仕を実践する前に先ず奉仕の心を磨くことが大切」と深川純一バスターガバナーのご講演記録に記されています。二宮尊徳は「田畑を耕す前にまず心の田畑を耕せ」と説いています。すなわちロータリアンとして「奉仕の心を磨く」とは言動の指針である四つのテストを理解し、職場においても実践することではないかと考えます。

アーサー・フレデリック・シェルドンが唱えた「He profits most Who serves best」が2004年の規定審議会で「They profit most Who serves best」にまた2010年の規定審議会で「One profits most who serves best」に変わりました。

日本語訳は変わっていません。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」この言葉もいろいろな解釈が出来ます。

奉仕できる環境であるということは実践し向上しあえる仲間が存在すること、その結果、人生哲学の矛盾を見つめながらその環境から勉強させて頂き「報いられる」という理解。職業奉仕とはロータリアンが学んだことを生き伝え実践すること。

会員増強とはロータリアンを増やす事。真のロータリアンを志す人。

ロータリーの会員のまま終わる人。心を磨き実践しロータリアンへの道は私は目指します。

総括

歴史あるロータリーの中で職業を離れたロータリアンの職業奉仕をあまり議論されていないように思います。が多くの意見でした。ガバナー補佐訪問時にお聞きしてみたいと思います。

~~~~~  
ガバナー補佐(Assistant Governor)

文字通り、激務となるガバナーを「補佐」する責任を負うために、理事会の方針に従い、ガバナーから任命される役職です。

1996年2月のRI理事会で、増大し続けるガバナーの責務を軽減するため、「地区リーダーシップ・プラン」(District Leadership Plan = DLP)が、承認されました。1997-98年度、このDLPを採択した地区は、複数のガバナー補佐を、任命できることになりました。DLPには、ガバナー責務を軽減するばかりでなく、ガバナー補佐がガバナーの責務を分担することで、地区の運営の再編成が今まで以上に可能になったり、より柔軟性をもった公式訪問が、実施できるようになるという効果がありました。

世界でDLPを試験的に先に実施した12地区は、1人のガバナー補佐が担当するクラブは、4~8クラブが妥当、と判断しています。なお、2002年6月30日までに、すべての地区がDLPを開発、採択しなければならなくなりました。

(ロータリージャパンウエブより)